



いの町のみなさんこんにちは！

高知県よさこいアンバサダー絆国際チームです。

よさこい祭りまであと少しとなりました。今回は、海外から参加する踊り子がどんなきっかけで“よさこい”と出会い、魅力を感じているかご紹介させていただきたいと思います。



Ryan M. Kenny さん / アメリカ

名古屋外国語大学に留学していた時、偶然通りかかった駐車場で地方車を制作していた学生よさこいチーム凰に話しかけたのがきっかけで、チームに参加することになりました。よさこいを感じる魅力は、チームメンバーだけでなく、他チームやお客さんなど多くの人と一緒にただただ同じ時間を楽しめることです。岐阜の祭りで踊った総踊りで感動したことを今でも鮮明に覚えています。8月の高知に向けて今、仕事に勉強、ダンスの練習と本当に大変ですが、小旗を担当することにもなり上達すべく日々頑張っています。仲間と一緒に踊れること、そしてとくにこんなに国際的なチームで踊れることはとても貴重なことだと思っています。



Will Breedon さん / オーストラリア

2015年、メルボルンに留学してきた学生グループが、日本文化と踊りへの情熱を伝えたい！と立ち上げたZenよさこいチームにちょっとした興味から参加したのがきっかけでした。よさこいの魅力は沢山ありますが、私にとってはやはりみんなで一緒に思い出を作ることができることです。そして、演舞を見て応援して下さる皆様から元気をもらえることほど素晴らしいことはありません！高知よさこい祭に参加するのは2回目ですが、今回はメルボルンから5人のメンバーと一緒に参加できるので本当に楽しみです。そして、他の国から参加している踊り子と高知で出会い、よさこいを通じて高知の人たちと交流することを楽しみにしています。



Ho Jia Lin さん / シンガポール

よさこいはシンガポールにある桜欄（さくらん）日本文化クラブの年配の方たちから習いました。よさこいを感じる魅力は、よさこいのユニークな踊りのスタイルです。現代曲に合わせた自由な振付ですが、伝統的な正調踊りも取り入れられていたり、新旧ミックスされているのがとても面白いです。8月に高知で踊るのは今はとても不安ですが、チームのみんなと会えるのでワクワクしています！



瀬川 貴子 さん / 高知県出身

今回、チームの振付を担当された瀬川さんは、カナダ在住で世界を舞台に活躍されているダンサーです。チームのテーマであるWA!の中に表現された事や演舞で注目してもらいたいところなどを教えてもらいました！

和（日本）輪（繋ぐ）WA（世界）をベースに、それぞれの国の民謡、イメージ、色と、和の動きをしっかりと出していこうと色々工夫しました。それぞれ国によって音の取り方や関節の使い方に違いがあるので、それを8拍子や鳴子を持って表現する事にとっても苦労しました。その中でどれだけユニークで絆国際チームらしいもの出来るかを考え振付しました。

振りの中にローマ字のK・I・Z・U・N・Aが動きの表現として隠れているので、探してみてくださいね。皆さんも一緒に踊り子の躍動感を感じ、絆国際チームのWAをそれぞれの心に刻んで頂けたらと願っております！そして、このような素晴らしい機会を頂いた事に心より感謝しています。